

# 熊本子ども囲碁便り 65

2018.01.13

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

電話：096-288-0005

HP：<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

メール：kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp

## ■ ■ 平成30年 年頭の挨拶



熊本子ども囲碁便りをご愛読の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、月日の経つのは早いもので、熊本地震から1年9ヶ月が過ぎました。今だ、復興復旧の途上であり、多くの方が仮設住宅等で不自由な毎日を過ごされています。昨夏には、朝倉市、日田市で大きな豪雨災害が発生しました。心よりお見舞い申し上げます。そのような環境の中、この1年間 皆さまのご協力により、子ども囲碁交流大会等を継続実施することができました。お陰様で、囲碁男子、囲碁女子達は、「囲碁」により喜びや楽しみを見だし、災害の辛さ苦しさを乗り越えています。

ところで、囲碁は、生涯の友達をつくり、思慮深く礼節をわきまえた人をつくらと言われていています。また、日本の教育では、知識、理解、応用力を身につけますが、囲碁での鍛錬により、分析、統合、判断力といった、社会で重要な、より高い思考レベルまで身につけることができると言われています。したがって、NPO法人熊本子ども囲碁普及会は、今年も、子ども囲碁交流大会等を継続実施の予定です。当交流大会等の運営、囲碁便りの発行等は、皆さまから頂いた貴重な浄財を活用させていただいております。今年も多数の方々のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭の挨拶といたします。

熊本子ども囲碁普及会理事長 福岡 喜一郎

## ■ ■ 平成30年 子ども大会等予定表



期日	大会名	主催	会場
1月21日(日)	全日本こども囲碁チャンピオン戦熊本地区予選	熊本子ども囲碁普及会	東部交流センター
〃	第23回熊本子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	東部交流センター
2月4日(日)	第65回肥後本因坊戦(熊本市予選)	熊日新聞社	熊日(世安)
2月18日(日)	ジュニア本因坊戦熊本地区予選	熊本子ども囲碁普及会	グランメッセ
〃	第24回熊本子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	グランメッセ
3月4日(日)	第33回RKK争奪戦	RKK熊本放送	日本棋院県本部
4月15日(日)	第25回熊本子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	グランメッセ(予定)
4月22日(日)	祐徳本因坊県予選	西日本新聞社	日本棋院県本部
5月6日(日)	第39回少年少女囲碁大会県予選	熊日新聞社	熊日(世安)
〃	段級位認定戦	熊日新聞社	熊日(世安)
5月27日(日)	TOTO杯ジュニア囲碁大会県予選	熊本子ども囲碁普及会	東部交流センター
6月3日(日)	小中学校囲碁団体戦県予選	熊本子ども囲碁普及会	東部交流センター
7月22日(日)	第26回熊本子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	グランメッセ(予定)
8月5日(日)	第6回RKK少年少女囲碁将棋大会	RKK熊本放送	県民交流会館パレア
10月21日(日)	吉備真備杯こども棋聖戦県予選	熊本子ども囲碁普及会	グランメッセ(予定)
〃	第27回熊本子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	グランメッセ(予定)
11月25日(日)	学校囲碁指導者養成講習会	熊本子ども囲碁普及会	東部交流センター
12月16日(日)	第23回熊日青少年囲碁の集い	熊日新聞社	熊日(世安)

## ■ ■ 第 22 回 熊日青少年囲碁の集い

12月17日第22回熊日青少年囲碁の集いが開催されました。  
参加者164名がそれぞれ全4局を打ちきり、全勝者には金メダルが、  
3勝者には銀メダルが贈呈されました。



### ○ 全勝者



#### < 19路盤の部 >

米田 伊吹(人吉西小4年)	上村 愉唯(託麻原小5年)
井上 芽朗(長嶺小3年)	上村 越生(託麻原小2年)
國松 慶(くるみ幼年長)	西村 悠汰(託麻南小6年)
吉田 達哉(東町小3年)	中野 結菜(託麻南小5年)
高田 笙真(附属小1年)	佐々木 圭(大江保育園年中)
王 翼(帯山小2年)	片山 聖陽(日吉小2年)
築地 伶旺(附属幼年長)	太田 創磨(健軍東小6年)
ツエルメグ・エレデネ(大江小2年)	古田 結唯(白川小1年)
坂口はるも(長嶺小4年)	片山 健(附属小2年)
渡邊 武(田迎南小2年)	上村 光輝(人吉東小1年)

#### < 13路盤の部 >

鮫島 葵(城山小2年)	小高 愛子(黒髪小2年)
川崎 悠生(熊本音楽幼年長)	吉野 佑(力合さくらこども園年中)

## ■ ■ 久留米青少年囲碁大会



夏休み明けすぐの9月3日(日)、久留米市の商工会議所にて「第5回市長杯争奪 久留米青少年囲碁大会」が開催されました。

囲碁を通じた子どもたちの健全育成や交流を目的としたこの大会では、福岡県内の他、佐賀、大分、熊本、そして今年は初めて長崎からの参加もあり、正に活気あふれる交流大会となりました。年々参加者も増えており、今年は約140名の未就園児から高校生までの子どもたちが腕を競い、熊本からも14名が参加しました。

大会はレベルに応じて4部門に分かれており、息子は互先の高段の部に出場しました。普段なかなか対戦することのない六段の高校生も何名か参加していて、力試しにととても良い機会でした。

結果は、六段の高校生に惜敗し、三勝一敗。同率の熊本から参加していた本田統子さんとの三位争いかと思いきや、「年齢が下の選手が上位となる」というローカルルールが適用され、あっさり息子が三位となりました(苦笑)。表彰は三位まででしたので、帰りの車中、「じゃんけんの方がまだ良かったな。」と息子が呟いていました。

熊本勢は他に入賞者がおらず、少し残念でしたが、来年また上を目指して挑戦してくれることを願っています。

囲碁を通して、笑い合っている子どもたちの顔がとても印象深い大会でした。

宮本将伍、優陽の母



## 第 29 回 日向はまぐり碁石まつり

台風 22 号が接近した、去る 10 月 28 日（土）29 日（日）の 2 日間、宮崎県日向市文化交流センターで行われた「第 29 回日向はまぐり碁石まつり」に、息子行洋（中 2）と娘紅葉（小 3）が初参加致しました。全国から 5～90 歳、最遠方は千葉県、多数の事前参加申し込みがありました。台風の影響で 50 人のキャンセルがあり、団体戦 162 人（54 チーム）、個人戦 309 人の参加者でした。熊本からも大勢参加されていました。

1 日目の団体戦では、今年から初の試みとして 1 人からでも申し込み可能にするために、全国からの参加者と即席チームを組んで対局できるようになりました。この「一碁一会チーム」は、7 組できたそうです。わが子 2 人も日向で囲碁教室をしている親戚にお願いして、教室に通っている 6 年生の M 君を紹介してもらい、M 君と 3 人で出場しました。M 君の教室は子供 1 人で、同世代の囲碁友達がいないそうで、息子と仲良しになって楽しそうに碁石の話をしていました。県外の子供達との交流の素晴らしさを感じました。

2 日目の個人戦では、熊本ジュニア勢が大健闘でした！ジュニアの部 A クラス（初段以上）水谷勇斗君優勝。C クラス（10 級以下）米田千爽さん優勝。A クラスに出た息子は、皆さん強くて圧倒されたようです。お楽しみ抽選会では、なんと息子が「はまぐり碁石セット」に当選し、大変喜んでおりました。C クラスの娘は、特別ゲストの石倉九段と岡田六段による「初心者囲碁講座」に私と参加しました。大変興味深い内容に引き込まれた娘は、何度も手を挙げておりました（笑）。講座のおかげで娘はスイス方式でなんとか 3 位入賞し、賞品の図書券を頂き、大変喜んでおりました。因みに、お昼に食べたはまぐり弁当は美味でした！

日向市役所のホームページに結果が表示されております。なお次回の第 30 回大会は、平成 30 年 10 月 27 日（土）28 日（日）に開催予定とのことです。

余談ですが、息子の対局と娘の講座参加の様子が、その日の UMK テレビ宮崎の夕方のスーパーニュースに映っていたと、宮崎の義姉から聞きました。また、娘が日向市の職員の方からインタビューを受け、その内容が日向市の広報「ひゅうが」の 12 月号に掲載されるそうです。これも日向市役所のホームページから閲覧可能です。

県外の大きな大会で、貴重な経験をさせていただき、多くの学びがありました。ありがとうございました。

渡邊行洋、紅葉の母



### ■■ 第 1 回全九州高等学校総合文化祭（第 32 回全九州高等学校碁石選手権沖縄大会）

12 月 16 日から 17 日に第 1 回九州高等学校総合文化祭（第 32 回全九州高等学校碁石選手権沖縄大会）が開催されました。熊本代表として参加した選手たちが、以下の優秀な結果を残しました。

<個人男子> 3 位 板垣友輝（真和高校）

<個人女子> 6 位 芦田華（文徳高校）

<団体男子> 2 位 熊本高校 主将 宮川天地、副将 佐々木仁、3 将 薫泰志

<団体女子> 6 位 真和高校 主将 手嶋望結、副将 藤井瑤、3 将 河野友香

凄いワッ！！



## ■ ■ 第7回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦

「第7回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦」が12月16、17日に倉敷市真備町のマービーふれあいセンターで開催されました。都道府県の予選を通過した85人（低学年の部43人、高学年の部42人）が出席し、熊本県からは東町小3年の上田健心くん、尾ノ上小4年の私の息子、宮本将伍が出席しました。

開会式の前には、地元真備町の呉妹小学校の子ども達が、中国から囲碁を持ち帰ったとされる吉備真備公のことを元気よく説明してくれました。

また開会式では、七冠保持者の井山裕太棋聖が審判長として紹介されると、子ども達から大きな拍手がおくられ、人気の高さがうかがえました。

対局が始まると、会場に石音だけがパチパチと響いて、子ども達を見守る保護者もまた、緊張して落ち着かないようでした。真剣な様子で戦う子ども達の姿は、見ていて感動しました。

熊本県勢は二人とも予選リーグを突破できず、2勝1敗という結果となりました。全国大会で2勝できた喜びと、あと1勝できなかった悔しさがあるようでした。

2日目は敗退が決まった出場選手同士で「親睦対局会」とプロ棋士による指導碁が行われました。親睦対局とはいえ、代表クラスの子どものと6局も対局できたことは良い経験となったようです。

息子は来年もこの大会に出場できるように、また1年頑張りたい、そして次こそは予選リーグを通過すると目標を立てていました。このような素晴らしい大会に出場する機会をいただいて、有り難く思いました。



宮本将伍の母

## ■ ■ 第5回石倉昇杯「宇土中学校 囲碁大会」

今年で5回目を迎えるこの大会は、去る12月16日（土）の早朝より開催されました。本大会は、日本の伝統文化である囲碁の学習を通して、礼儀やマナーを身に付けると共に忍耐力、自制心及び集中力を養うことや、大会を通して日頃の学習成果を出し合い、交流することで学年を超えた生徒相互の親睦を図る目的で開催されました。

試合形式はトーナメント方式で個人優勝までは8試合あります。それに1年から3年まで6クラスのクラスマッチも兼ねています。試合数が多いため、使用盤は13路盤です。1、2回戦は和気あいあいの中、楽しく対局していました。回が進むとあちこちで白熱した見ごたえのある試合続出でした。

個人戦の準決勝と決勝戦は、設置された大画面に映し出され、その模様を参加者全員で観賞しました。その結果、優勝者は3年2組の中尾剛君で石倉昇杯を手に入れました。なお、準優勝は3年2組の杉本直弥君でした。来年もこのような素晴らしい大会が継続して開催されることを祈念しています。

 熊本子ども囲碁普及会理事 江藤 茂



## ■ ■ 学校囲碁指導者養成講習会

1月26日(日)に東部交流センターにて水間俊文七段(日本棋院)をお招きし、第3回学校囲碁指導員講習会を開催しました。参加者は40名で今回は学校関係者をはじめ父親や母親の参加も目立ち、親子で参加という姿も見られました。



まず囲碁の歴史をお話し頂きました。囲碁には3000年の歴史があり、1500年前に遣隋使により日本に伝えられ、大宝律令にも囲碁について記載されていたそうです。その後、徳川家康が囲碁だけで生計を立てられるように制度を確立しましたが、明治維新の時に後ろ盾をなくします。その時、棋士が一致団結して出来たのが日本棋院だそうです。

そして『琴棋書画』についてお話があり、琴(音楽)書(書道)画(絵)は学校教育に残っているが、棋(囲碁)はなくなっているので、学校囲碁普及の必要性を語られました。

最期に私たち母親世代が一番興味を惹かれたのが子どもへの接し方(指導法)です。初めて囲碁を習う子に対して大切なことは、まず囲碁を楽しんでもらう事、上達した時や出来

なかったことが出来るようになったら褒める事、生徒の能力を超える指導はしない事、入門当初は投了を教えずに自力で得点を数える事、子どもは飽きやすいので10分以内の指導を心掛ける事、ネガティブな言葉は使わない等、子育てにも繋がる内容でしたので本当に興味深く聞く事ができました。和やかな雰囲気講習会はとても楽しく、あっという間の二時間でした。

次回、開催される時はもっと周囲に参加を呼び掛けたいと思える講習会でした。



廣末直大の母

## ■ ■ 盛り上がる囲碁界



新春を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます。顧みますに昨年は囲碁界にとっても囲碁ファンや私個人にとっても歴史に残るような素晴らしい一年であったと思います。

熊本でも一年に二回のタイトル戦が行われました。正月明けの1月22日、23日、菊池笹乃家ホテルで行われた第41期棋聖戦第2局(井山裕太棋聖対河野臨九段)、7月25日ホテル日航熊本で行われた第42期碁聖戦第3局(井山裕太碁聖対山下敬吾九段)です。私は両方共に前夜祭、当日の大盤開設に参加させて頂きましたが、就中、棋聖戦の方は私が所有する碁盤を対局で使って頂き、主催者の読売新聞社の関係者の方のご厚意で対局後の両対局者を囲んでの打上げにも参加させて頂きましたので感慨もひとしおでした。また4月14日に帝国ホテルで行われた就位式にも読売新聞社様、日本棋院様からの招待もあり参加させて頂き一生涯の思い出となりました。お土産に熊本地震復興の宣伝になればとの思いから私がデザインして作製した熊本復興支援オリジナルTシャツ(「蘇れ!火の国」「甦れ!熊本城」)を両対局者はじめ関係者の方々に贈らせて頂きました。

昨年一番の話題は何と言っても井山裕太七冠返咲きでしょう。他のタイトルを防衛しながら一昨年失った名人位を見事、1期で奪還しての快挙に井山ファンのみならず全国の囲碁ファンが熱くなりました。近年、心境著しい一力遼八段(去年は天元戦、王座戦で挑戦者)や本木克弥八段(同、本因坊戦で挑戦者)、余正麒七段(同、十段戦で挑戦者)などの若手の台頭もありますが井山牙城を崩すまでには至っていません。また、井山七冠は世界戦「第22回LG杯棋王戦」の準決勝で目下、世界最強とされる中国の柯潔九段を破り日本勢としては11年ぶりの決勝進出を果たし、2月に予定されている決勝戦が楽しみです。

昨年暮れには将棋界の前人未踏の永世七冠を達成した羽生善治竜王棋聖と井山裕太七冠の同時国民栄誉賞授与の朗報もありました。話題が尽きない囲碁界の今後、益々のご発展をお祈り申し上げます。

熊本子ども囲碁普及会監事 後藤 渉

## ■ ■ 幼稚園バザーにて囲碁教室

ルビニー幼稚園のバザーにて囲碁教室を行いました。

親子、兄弟、お友達で、ずっと切れ目ない参加があり満席状態でした。凄い！2時間ほどの予定でしたが、2時間過ぎてまだまだ来る！！小さい子から大人まで、みんな楽しんでくれました。バラバラに来るので一人で切り盛りは大変でしたが、頑張りましたよ。このような囲碁への入り口の活動が大事だと感じる1日でした。        



和太鼓教室おんがくの森おやこ囲碁交流会子育てサークルおんがくの森  
代表 坂本新吾

## ■ ■ お知らせ

全日本こども囲碁チャンピオン戦熊本大会

日 時：1月21日（日）受付 9:00

場 所：熊本市東部交流センター

参加費： 代表決定戦 500円（弁当なし）（参加賞付き）  
交流大会 無料（弁当なし）（参加賞付き）

申込先：ホームページ応募フォームから

<http://kodomoigo-champ.com/kumamoto/>

第4回 熊本子ども囲碁研鑽会

日 時：1月27日（土）10:00～12:00

場 所：熊本西囲碁教室

参加費：500円（弁当なし）

申込先：熊本西囲碁教室（板井）090-6779-5250

ジュニア本因坊戦九州地区熊本大会

日 時：2月18日（日）受付 9:00 対局 10:00～16:00

場 所：グランメッセ熊本 コンベンションホール

参加費： 代表決定戦 500円（弁当なし）（参加賞付き）  
交流大会 無料（弁当なし）（参加賞付き）

申込先：ホームページ応募フォームから

<https://junior-honinbo.com/kumamoto/>



**編集後記**・・・ いよいよ始まった2018年。今年もより楽しく読んで頂ける囲碁便りを目指して工夫していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

囲碁も今年こそは頑張って初段になりたいです！（←昨年と同じこと言っていた様な・・・）

↓新年最初のクイズを用意しましたので、良かったらチャレンジしてみてください。（上村）

**【クイズ】** 今年には2018年イヌ年なので、お便りの中に**イヌ**のイラストを**18**匹入れました。全部見つけることができるかな？（猫に注意）

## ■ ■ 会員一覧 主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますようお願い申し上げます。



### <法人会員>

井筒屋化学産業（株）・熊本電気鉄道（株）・ルンビニー幼稚園・R K Kカルチャーセンター・（有）草野企画・熊本ファミリーライフサービス・重光産業（株）・日本棋院人吉球磨支部・（株）三優・（有）エムティエス熊本・日の丸産業（株）・広瀬ヴァイオリンスクール・福田病院・熊本母と子の囲碁教室・（株）セーフティガード・全労済熊本県本部・（株）芦田

### <個人会員>

長田幸基・松本晴子・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・岐部英登・川口雄一・島田万里・田口信夫・風口英利・徳尾芳道・徳尾幸子・藤本和美・上野剛彦・奥村拓司・大原照久・新道哲也・湯村フク・寺尾敏子・満井浩一・下地明友・下地君代・田中力男・鶴山繁實・渡辺武・石塚正司・駒崎照雄・後藤修一・松尾孝・八塚敬子・竹屋純子・元田美智子・河原田隆・田坂照夫・宮永康男・江藤茂・江藤由久子・西徳義・坂田祇彦・江富佑子・古庄剛・大島國壯・永野昭人・毛利秀士・見寄裕一・酒井ちはる・中野昭二・坂口信春・坂口仁寿・川上龍一・大森貞夫・峰由香・坂田敏昭・定永道明・安田節爾・盛山恒子・奥蘭惣幸・隈部敏・岩崎敏江・大河内俊子・緒方夕佳・渡邊勉・ジャイルス仁美・須藤悦男・桂文裕・長尾睦生・前出洋・秋岡廣宣・後藤孝美・山城佐知・志垣裕二・井島敏幸・託麻囲碁クラブ保護者会・井沢重正・池田篤郎・佐藤英逸・中拂達・野崎照・中村寛・重野由紀・江藤剛・倉田千佳子・寺本博明・上田昭治・藤川雅朗・磯田麗子・高田若奈・熊須健一・吉田周一・藤崎幸次郎・宮本典明・瀬口良三郎・福間喜一郎・宮川秀樹・加来義晴・佐村雄二・磯谷重和・西山浩介・西山育子（敬称略）

## ■ ■ 各地の教室・・・（アイウエオ順）

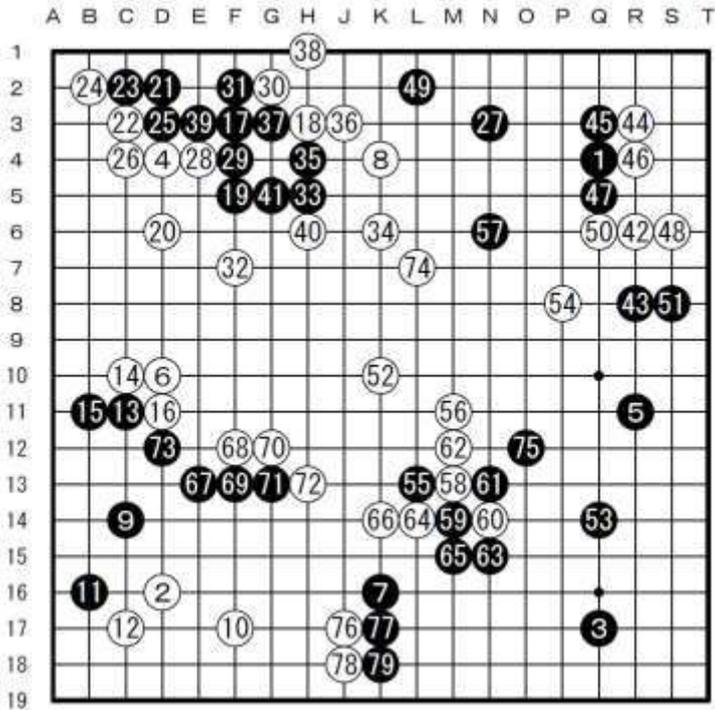
- R K Kカルチャーセンター 子ども囲碁講座（熊本市東区长嶺 096-383-3900）
- 囲碁サロン三連星☆（熊本市中央区渡鹿 070-5819-8216）
- 一新こども囲碁教室（熊本市中央区新町 096-352-7639）
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室（熊本市東区尾ノ上 096-340-8731）
- 上通こども囲碁教室（熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005）
- 京塚こども囲碁教室（熊本市東区京塚 096-383-5492）
- 熊本母と子の囲碁教室（熊本市東区下江津 096-370-2263）
- 熊本西囲碁教室（熊本市西区城山大塘 090-6779-5250）
- おやこ囲碁交流会（熊本市南区出仲間 080-3376-0407）
- 佐土原こども教室（熊本市東区佐土原 096-367-1707）
- 玉名立願寺楽碁長屋こども教室（玉名市立願寺 0968-73-9008）
- 日本棋院玉名支部教室（玉名市岩崎 0968-74-4968）
- 日本棋院人吉球磨支部教室（人吉市城本町 0966-28-3111）
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」（阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045）
- 武蔵ヶ丘コミュニティセンターこども囲碁教室（菊池郡菊陽町津久礼 096-232-5697）
- 松尾東こども囲碁教室（熊本市西区上松尾 096-329-6951）



第5回RKK少年少女囲碁将棋大会トーナメントの部 2回戦

対局日：2017年8月6日 結果：白6目半勝ち

黒番：上村愉唯君（託麻原小5年） 白番：木下智弘君（真和中1年）

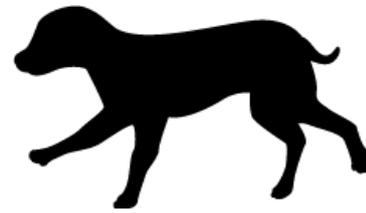


【観戦記】

黒の中国流に対して白は三連星。お互い大場を打ち合う展開となったが、黒9では白10の方から力加るのが普通。また黒13では黒73と打ちたい。白は黒17の力加りに対して厚みを生かすべく39にコスミツケるか25の鉄柱で応じたかった。黒41と生きては白の攻めが空振りに終わった。

黒は右辺から下辺にかけてもうまく地をまとめ、黒79の時点では黒が若干リードしているが、その後白が逆転に成功している。

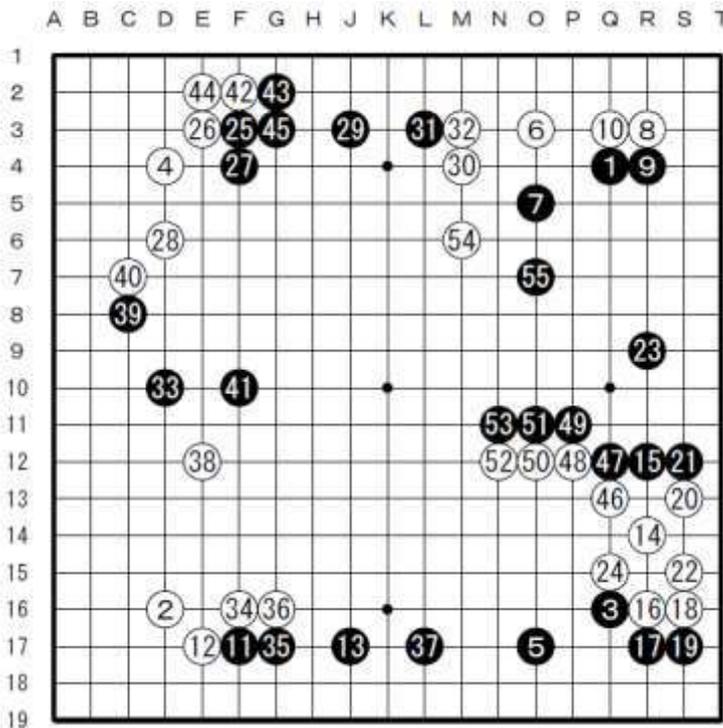
記）肥後本因坊 内田直也（NPO法人熊本子ども囲碁普及会理事）



第5回RKK少年少女囲碁将棋大会交流戦の部

対局日：2017年8月6日 結果：白中押し勝ち

黒番：永木理子さん（出水南中2年） 白番：田中淳仁君（武蔵中1年）



【観戦記】

白12のコスミツケに対しては34のタッチで応じ、白は左辺一間か小ゲイマジマリの後黒は効率良くヒラくことができる。

右辺の攻防は白がちょっとツラく、白16では普通に中央へ飛び出したい。

白38は面白い着想。手厚い黒と機敏な打ちまわしの白、お互いの棋風が良く表れた対局となった。

記）肥後本因坊 内田直也（NPO法人熊本子ども囲碁普及会理事）

